

■今後のまちづくりに関するアンケート調査

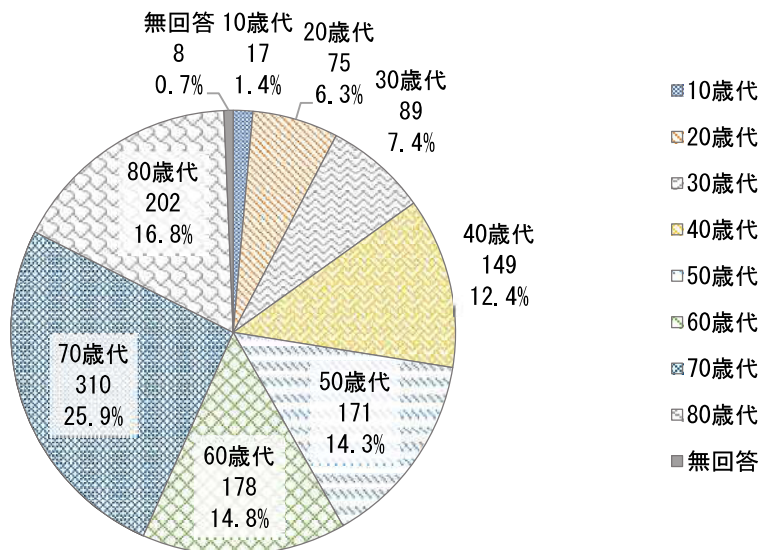
1) 調査の概要

調査対象	熊野町に住む 18 歳以上の住民（令和 4 年 10 月 1 日現在、住民基本台帳登録者）
対象数	2,500 人（住民基本基本台帳より無作為抽出） 外国人含む
調査時期	令和 4 年 11 月 11 日（金）～令和 4 年 11 月 25 日（金）[15 日間]
調査方法	郵送配布・郵送改修（WEB 回答も可）
有効回収数 （有効回収率）	1,199 票※（47.9%） ※WEB による回答者 56 名を含む
備考	令和 4 年 10 月の住民基本台帳人口：23,445 人（全住民の約 5%）

2) 調査結果

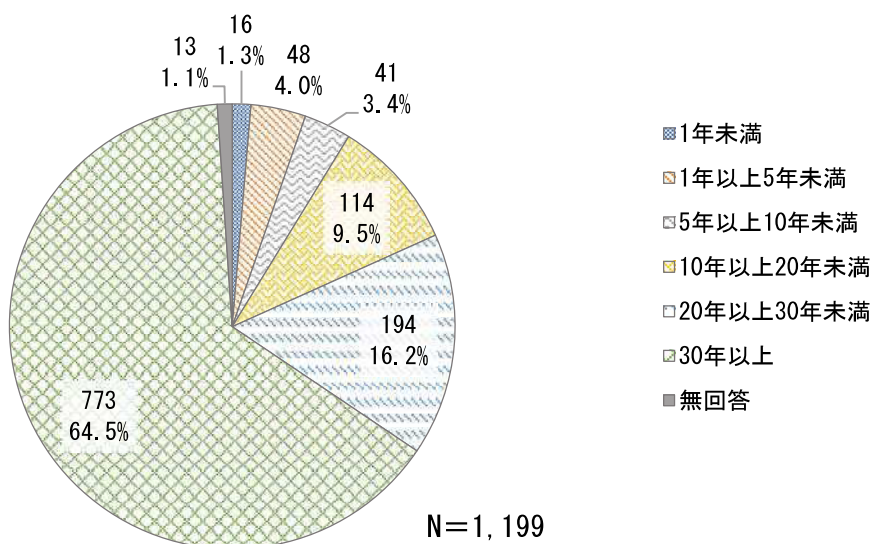
1 あなた自身のことについておたずねします。

【問 1】 あなたの年齢をお聞かせください。（1 つに○）

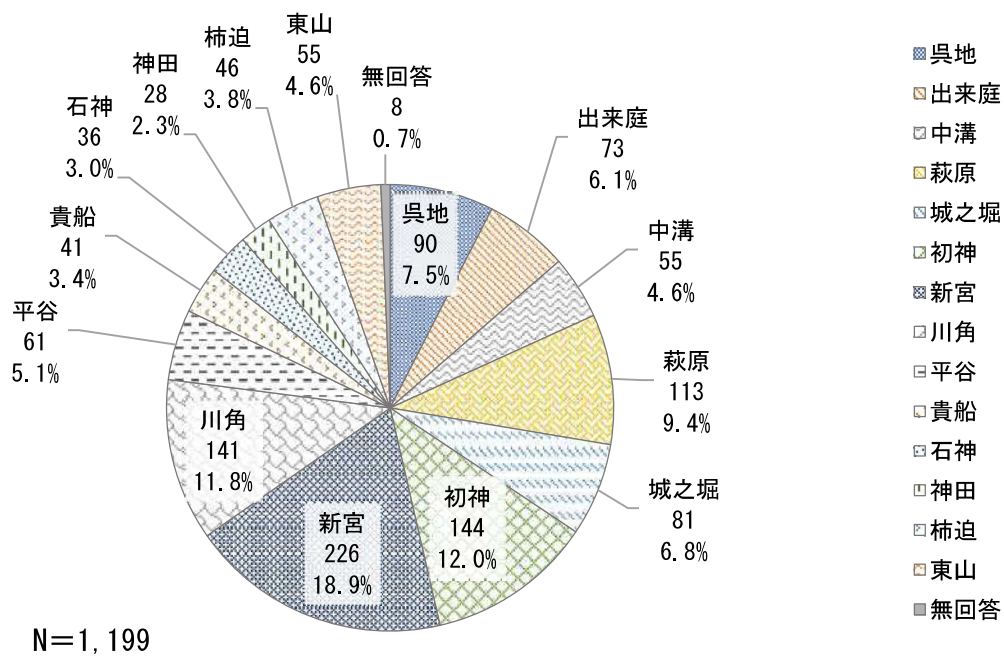


N=1,199

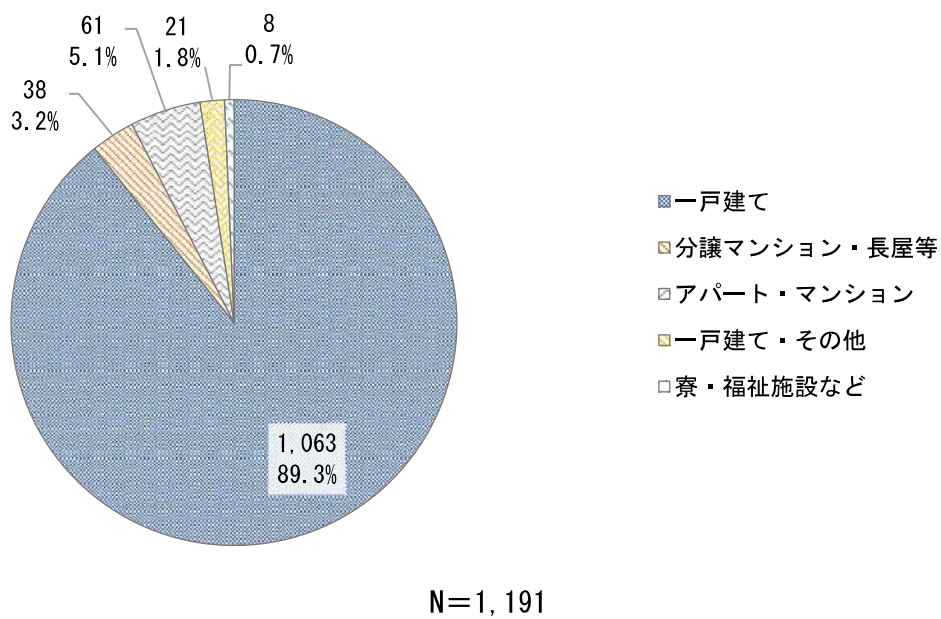
【問 2】 熊野町に住んでいる期間をお聞かせください。（1 つに○）



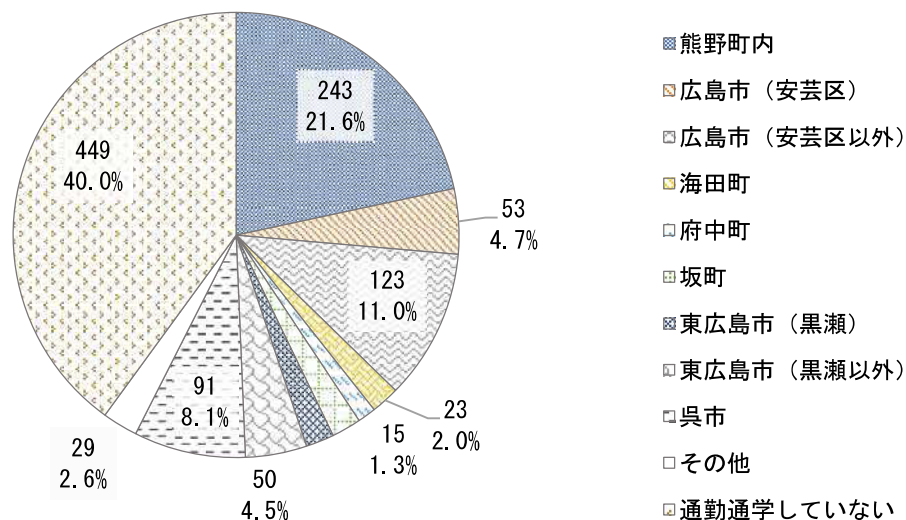
N=1,199



【問 4】あなたのお住まい（住宅の種類）をお聞かせください。（1つに○）

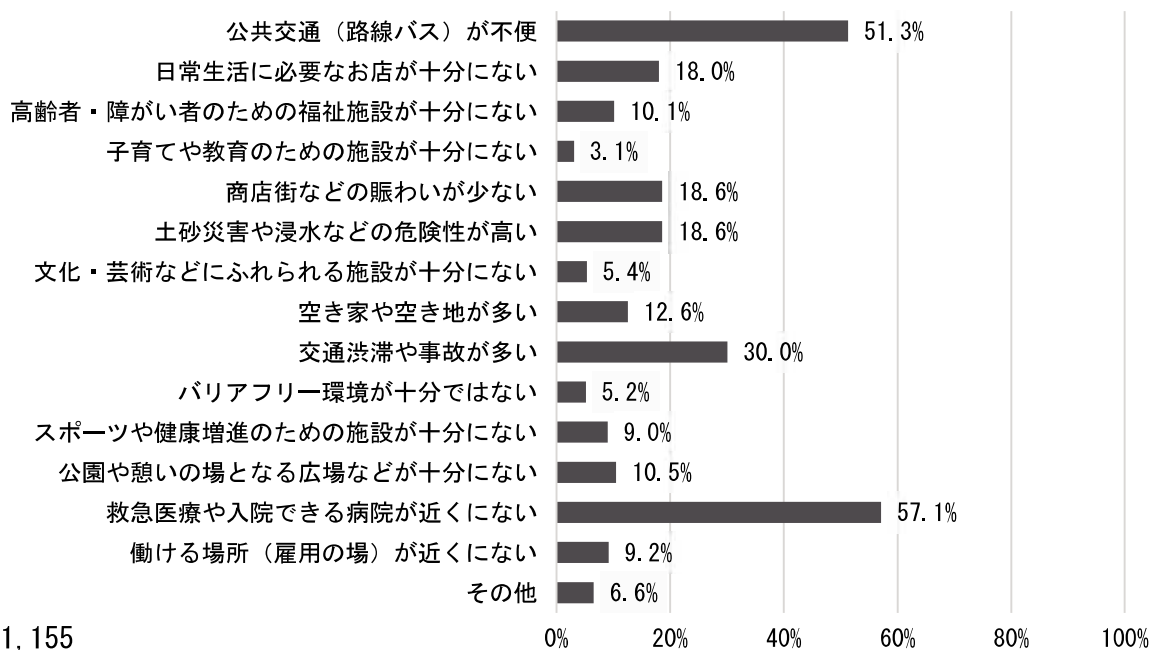


【問 5】 あなたの働いている場所（通勤先）や 通学先 をお聞かせください。（1つに○）



N=1, 123

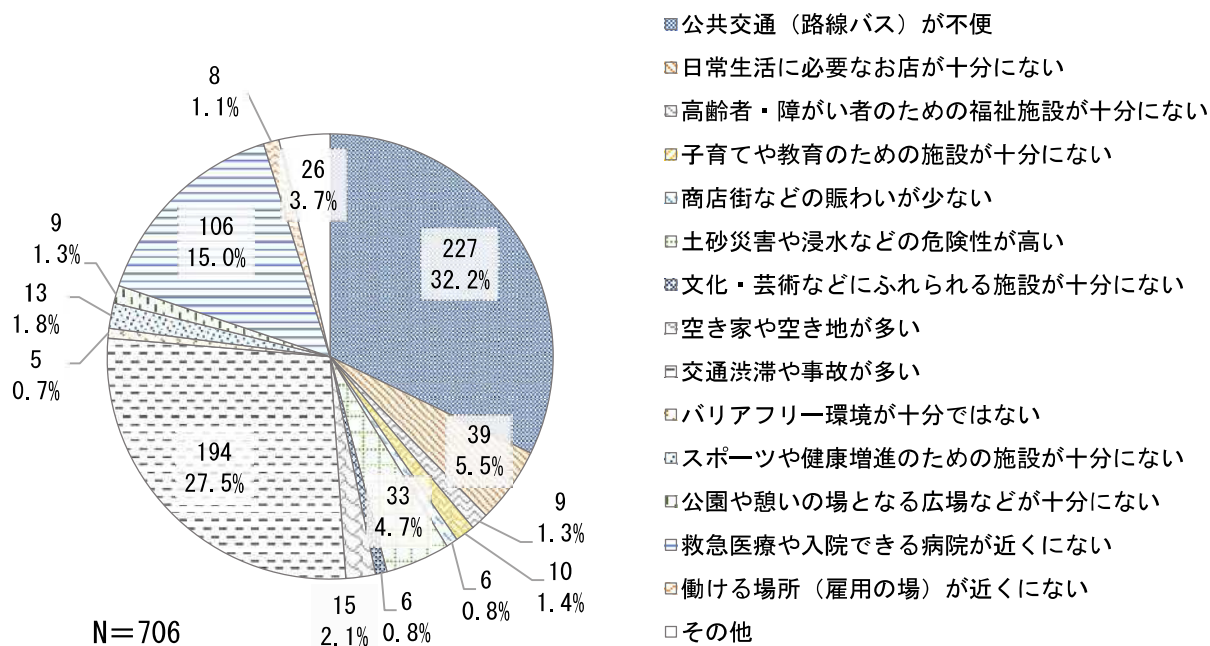
【問 6】 あなたのお住まいの地区で不便・不安に感じることをお聞かせください。（○は3つまで）



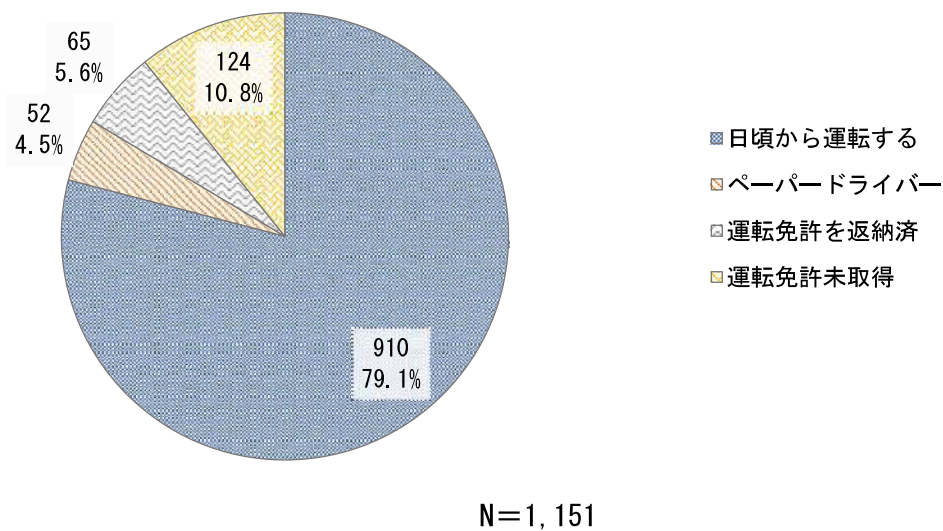
N=1, 155

【問 7】 上記（問 6）の内容で最も不便・不安に感じることを具体的にお聞かせください。（自由記述）

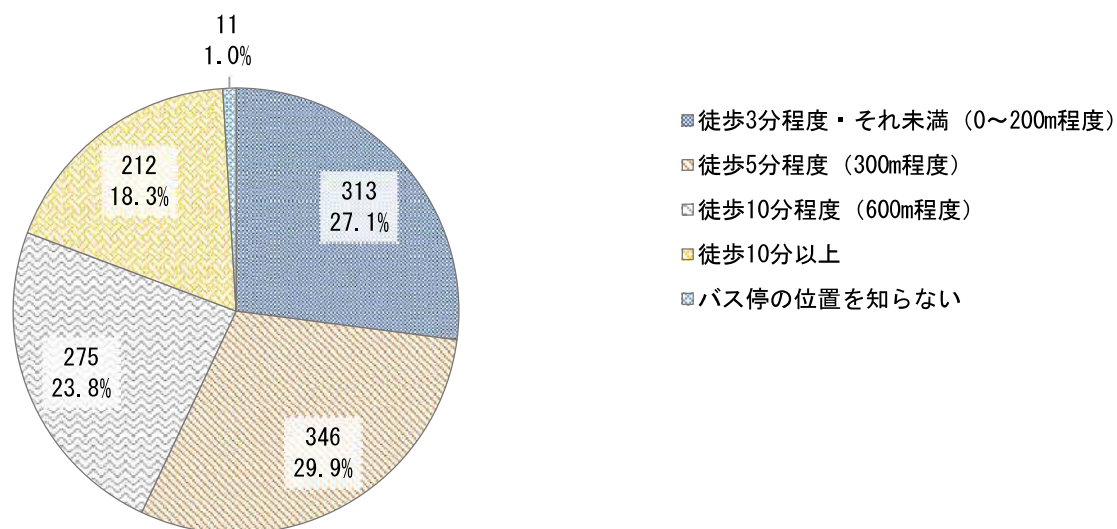
回答例：1.朝・夕ピーク時の路線バスの乗客が多くて、座席に座れない。



【問 8】 自動車の運転に関してお聞かせください。（1つに○）

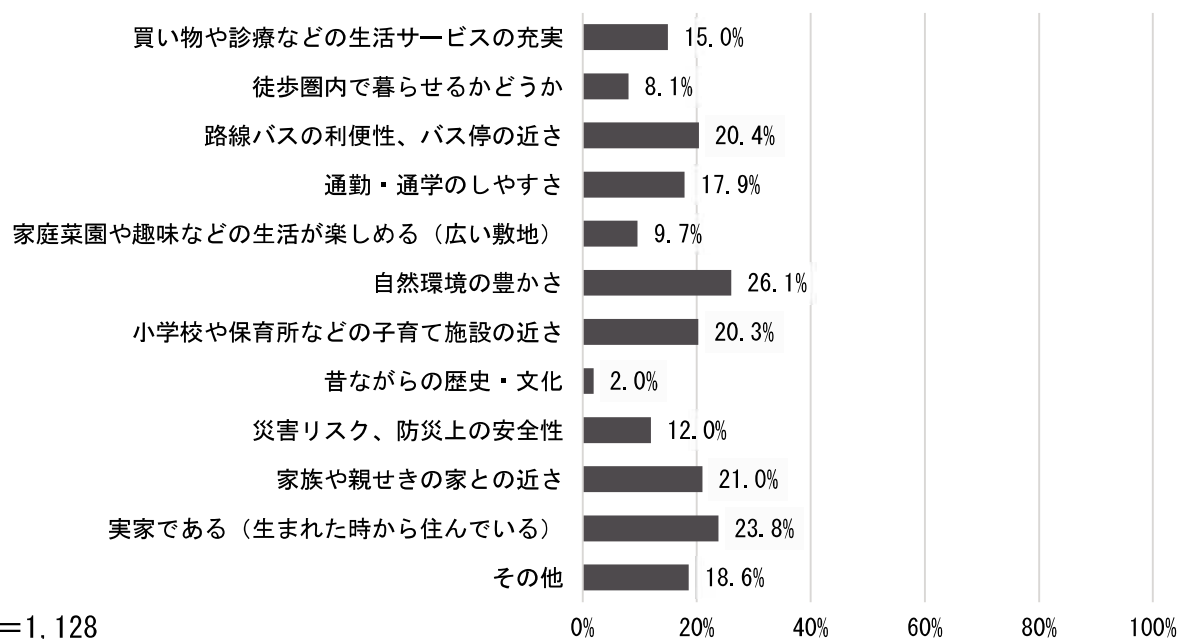


【問 9】あなたのお住まいから最寄りのバス停（路線バス）までの距離をお聞かせください。（1つに○）



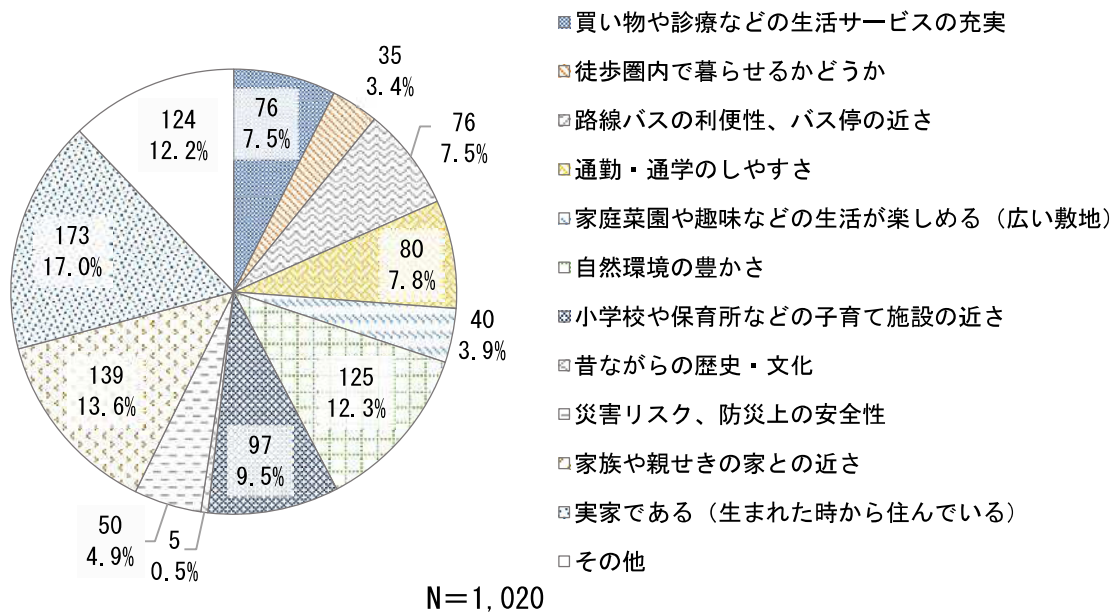
N=1, 157

【問 10】現在のお住まいの地区を決めるときに重視したことをお聞かせください。（○は3つまで）

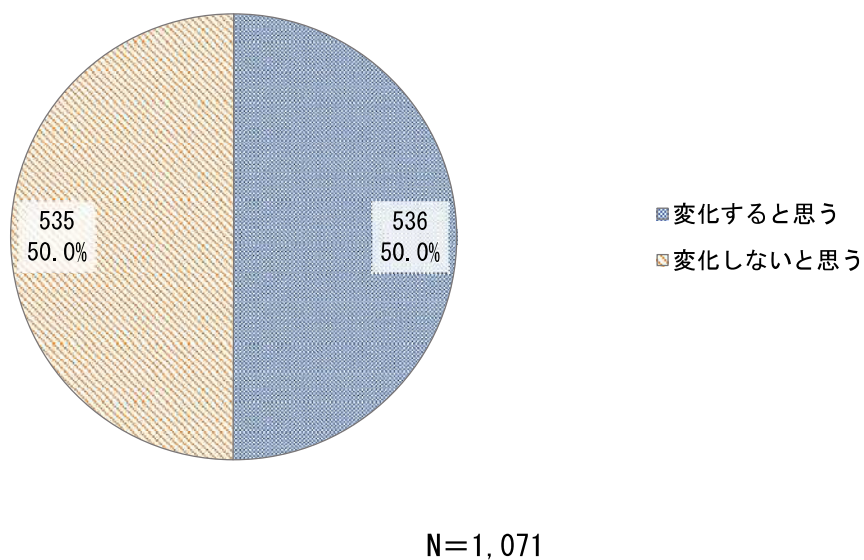


N=1, 128

【問 11】 問 10 の回答のうち、「最も重視したこと」はどれかお聞かせください。（1～12 のうち 1 つに○）



【問 12】 20 年後を想定した場合、問 11 で選択した「最も重視したこと」が変化すると思いますか。（1 つに○）



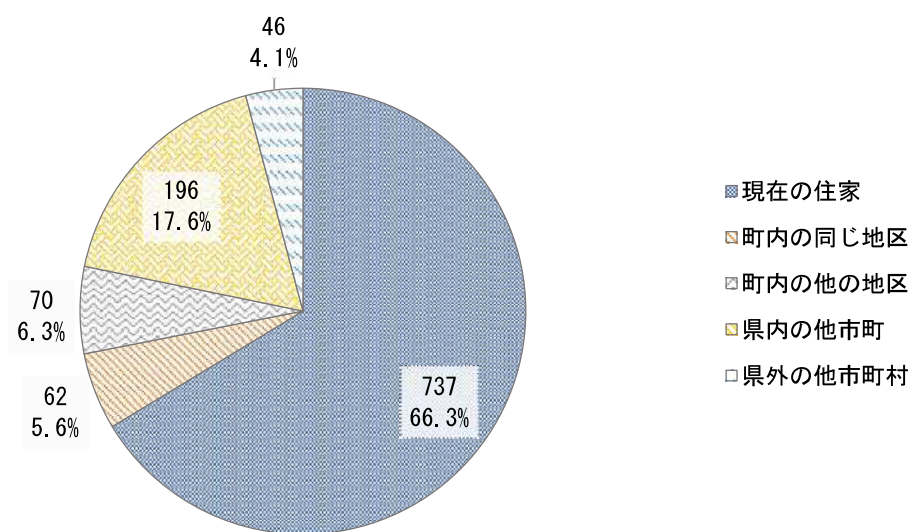
【問 13】 20 年後を想定した場合、あなたは熊野町でどのような暮らしをしたいと思いますか。（自由記述）

【記入者の主な記入例】

- 徒歩圏内に必要な生活サービスがある暮らし
- 買い物や病院が近くでできる暮らし、医療・買い物に困らない暮らし
- 町内で生活に必要なものが揃う暮らし
- 車がなくても移動手段に困らない暮らし
- 医療が充実している暮らし
- 福祉サービスが充実している暮らし
- 自然環境に囲まれた暮らし、のんびりと過ごせる暮らし
- 安心した老後
- 安全・安心な暮らし
- 今のままでよい
- 20 年後は熊野町にいない
- 老人ホームにいる暮らし、生きているかわからない

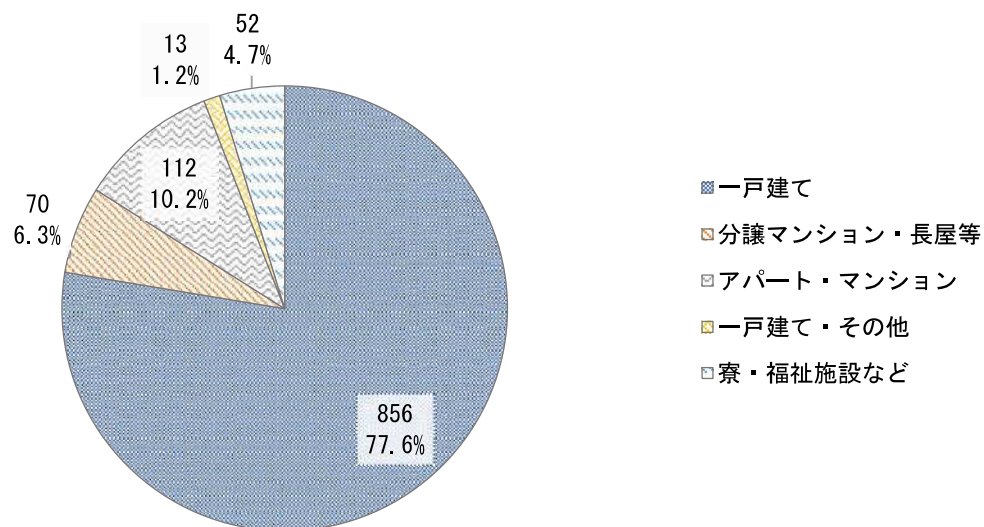
【問 14】 今後（20 年～30 年後）を想定した場合、あなたが住みたい場所や住宅の種類をお聞かせください。

■ 住みたい場所



N=1,111

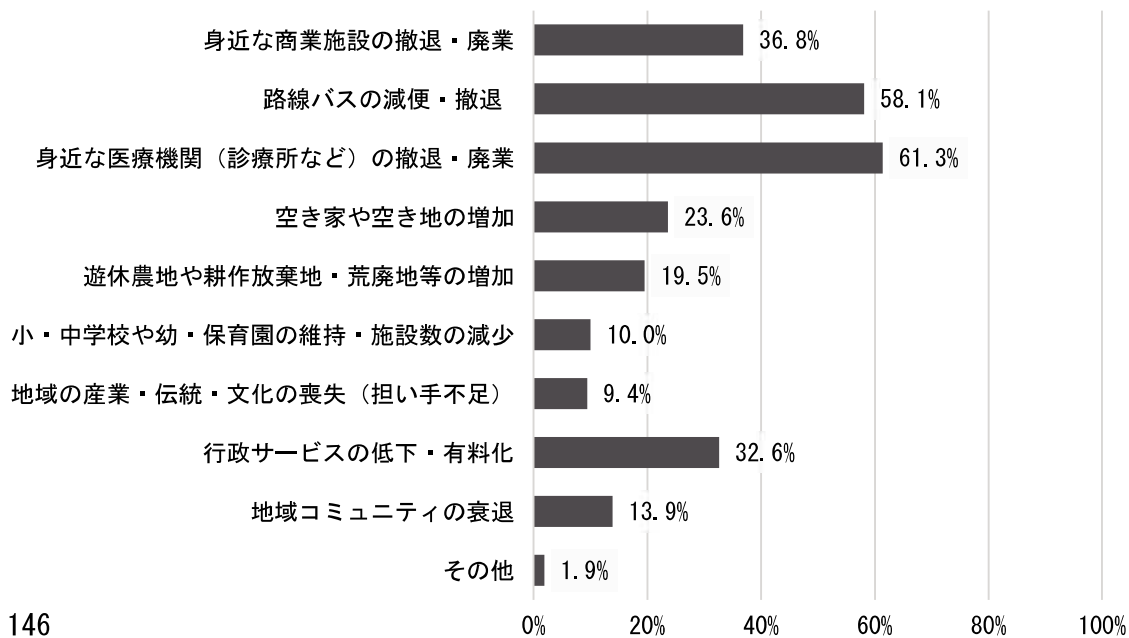
■ 住みたい住宅の種類



N=1,071

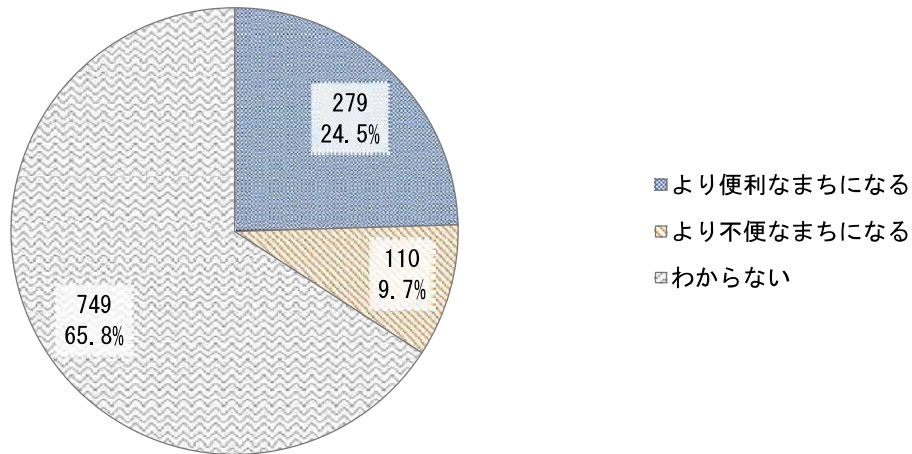
2 これからの『まちづくり』についておたずねします。

【問 15】 今後（20 年～30 年後）の人口減少・高齢化等を想定した場合、熊野町での暮らしについて不安なことは何ですか。（○は 3 つまで）



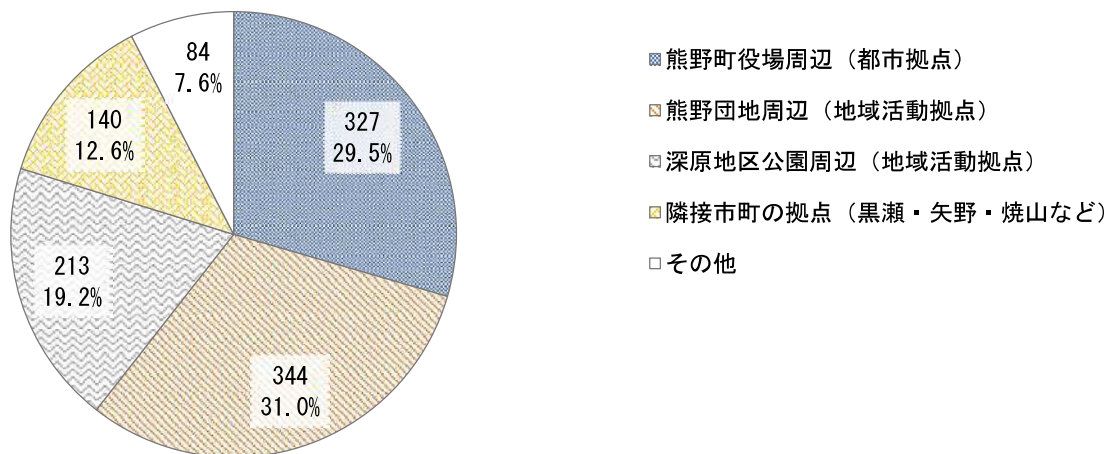
N=1,146

【問 16】「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方でまちづくりを進めた場合、今後の熊野町はどのようなまちになると思いますか。（1 つに○）



N=1,138

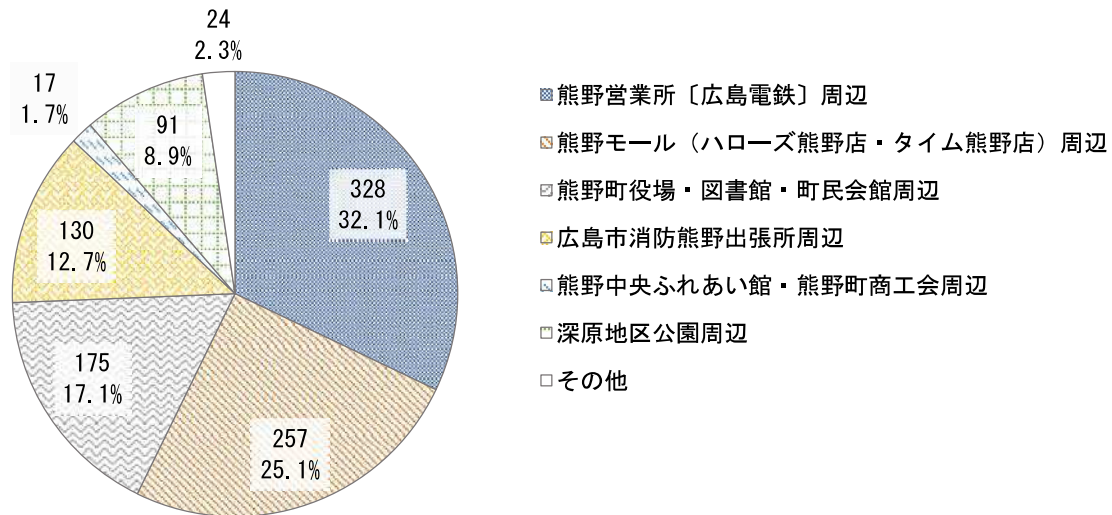
【問 17】熊野町都市計画マスタープランでは、将来のまちのカタチの考え方（将来都市構造）として、西部・中央・東部の 3 つの地域拠点（まちづくりを進める重点的なエリア）を設定しています。あなたが地域コミュニティ活動や日常生活で最もよく利用する「拠点」はどこかお聞かせください。（1 つに○）



N=1,108

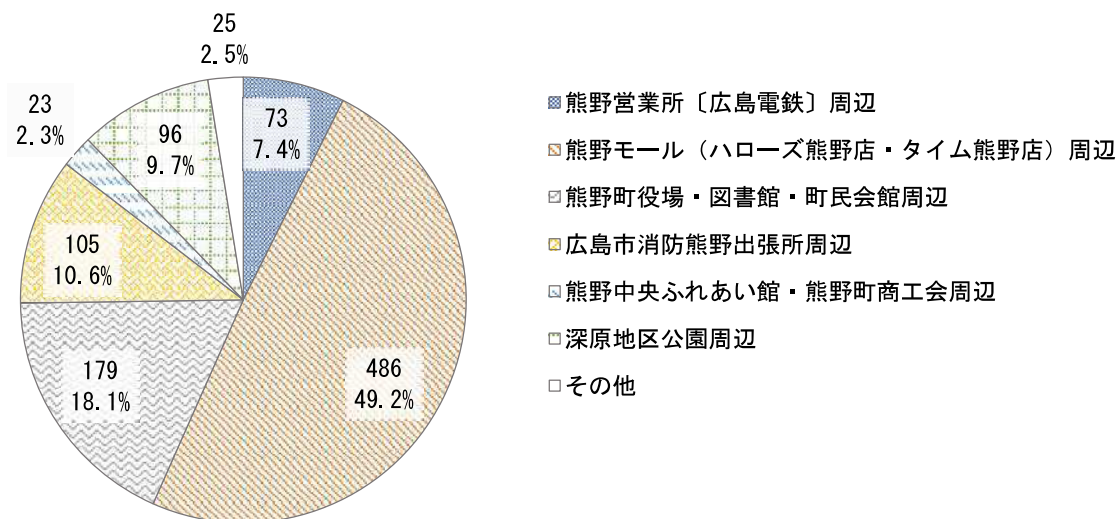
【問 18】 今後のまちづくりにおいて、①公共交通の乗継場所②生活に必要な様々な施設の集積地となる場所の中心地は、どこが最もふさわしいと思いますか。（①と②でそれぞれ 1～7 の 1 つに○）

①公共交通の乗継場所



N=1,022

②施設集積地となる場所



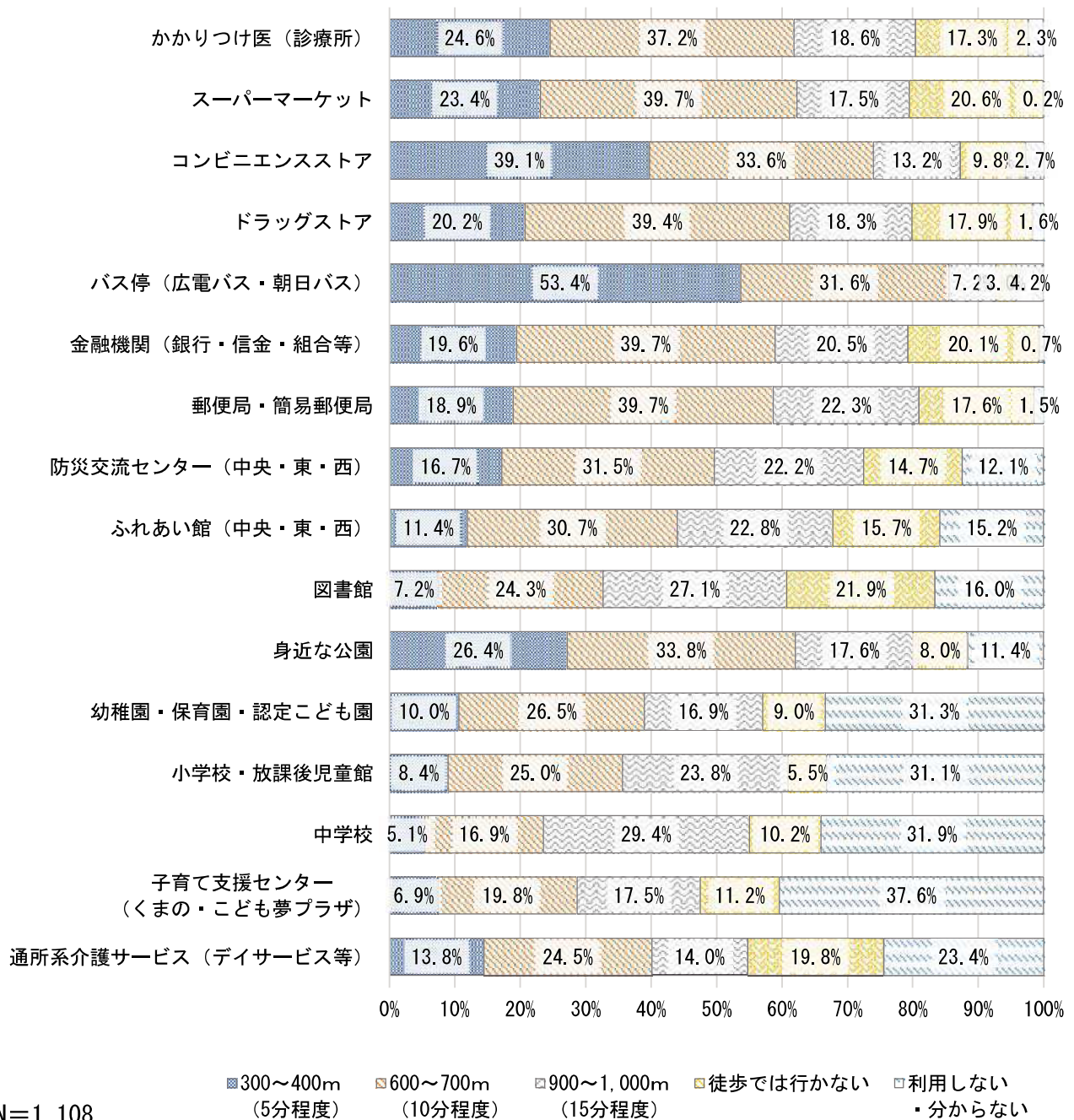
N=987

【問 19】 今後、熊野町がさらに暮らしやすい町となるために、熊野町の中心地（都市拠点）に新たに整備してほしい施設の希望があれば、お聞かせください。

（自由記述）記入例：温浴施設、スポーツクラブ、映画館、バスターミナル、大きな公園など

熊野町の中心地（都市拠点）に新たに整備してほしい施設（主な施設）
飲食店（ファミリーレストラン、ファーストフード店、コーヒーショップ・喫茶店等）
総合病院・診療所（小児科・耳鼻科・眼科等）
温浴施設、スーパー銭湯など
スポーツクラブ・スポーツジム、プール、健康増進施設
公園、大きな公園
バスターミナル等
映画館
ショッピングモール、大型商業施設、複合施設
カラオケ等娯楽施設
専門店（衣料品店、大型書店・レンタルショップ）
道の駅

【問 20】「歩いて暮らせるまちづくり」を考えた場合、あなたが歩いて行っても良いと思える距離（時間）を、下記の施設それぞれについてお聞かせください。（施設ごとに 1 つに○）



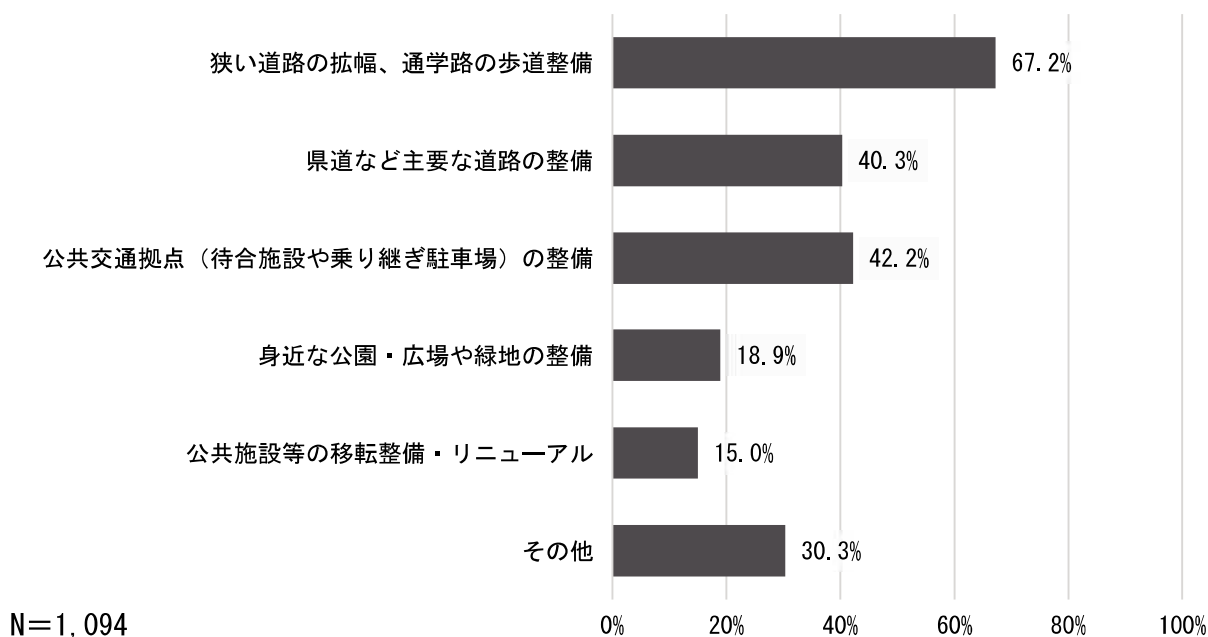
【問 20】

施設	選択肢（歩いて行っても良いと思える距離）										N 有効 回答
	300～400m （5 分程度）		600～700m （10 分程度）		900～1, 000m （15 分程度）		徒歩では 行かない		利用しない ・ 分からない		
かかりつけ医（診療所）	269	24. 6%	407	37. 2%	204	18. 6%	189	17. 3%	25	2. 3%	1, 094
スーパーマーケット	256	23. 4%	434	39. 7%	191	17. 5%	225	20. 6%	2	0. 2%	1, 108
コンビニエンスストア	428	39. 1%	368	33. 6%	144	13. 2%	107	9. 8%	30	2. 7%	1, 077
ドラッグストア	221	20. 2%	431	39. 4%	200	18. 3%	196	17. 9%	18	1. 6%	1, 066
バス停（広電バス・朝日バス）	584	53. 4%	346	31. 6%	79	7. 2%	33	3. 0%	46	4. 2%	1, 088
金融機関（銀行・信金・組合等）	214	19. 6%	434	39. 7%	224	20. 5%	220	20. 1%	8	0. 7%	1, 100
郵便局・簡易郵便局	207	18. 9%	434	39. 7%	244	22. 3%	192	17. 6%	16	1. 5%	1, 093
防災交流センター（中央・東・西）	183	16. 7%	345	31. 5%	243	22. 2%	161	14. 7%	132	12. 1%	1, 064
ふれあい館（中央・東・西）	125	11. 4%	336	30. 7%	249	22. 8%	172	15. 7%	166	15. 2%	1, 048
図書館	79	7. 2%	266	24. 3%	296	27. 1%	240	21. 9%	175	16. 0%	1, 056
身近な公園	289	26. 4%	370	33. 8%	192	17. 6%	87	8. 0%	125	11. 4%	1, 063
幼稚園・保育園・認定こども園	109	10. 0%	290	26. 5%	185	16. 9%	98	9. 0%	342	31. 3%	1, 024
小学校・放課後児童館	92	8. 4%	273	25. 0%	260	23. 8%	60	5. 5%	340	31. 1%	1, 025
中学校	56	5. 1%	185	16. 9%	322	29. 4%	112	10. 2%	349	31. 9%	1, 024
子育て支援センター （くまの・こども夢プラザ）	75	6. 9%	217	19. 8%	191	17. 5%	123	11. 2%	411	37. 6%	1, 017
通所系介護サービス （デイサービス等）	151	13. 8%	268	24. 5%	153	14. 0%	217	19. 8%	256	23. 4%	1, 045

※無回答を除く

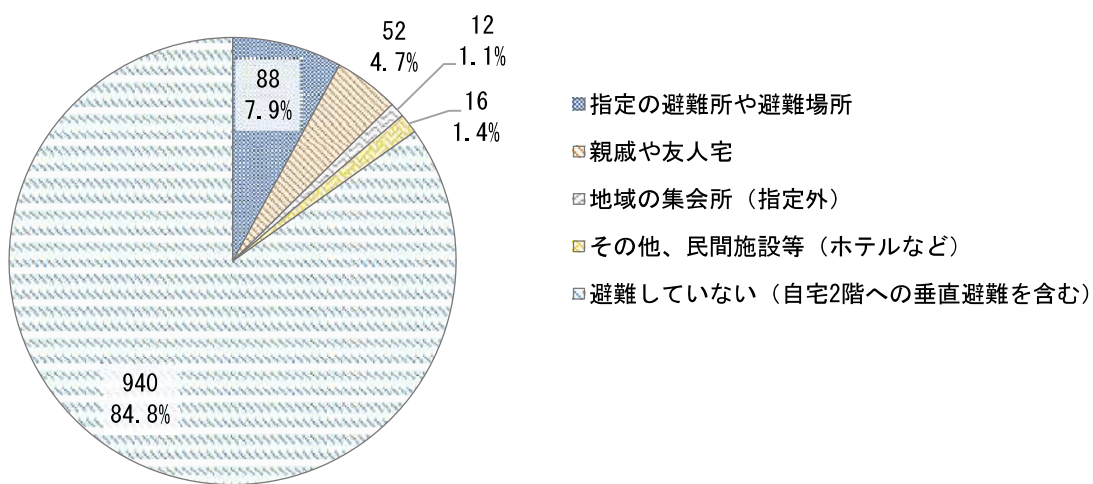
【問 21】 あなたがお住まいの地区における都市基盤※ や生活環境を考えた場合、今後どのような施設の整備に力を入れていくべきだと思いますか。（○は3つまで）

※都市基盤とは、道路、河川、上下水道、学校、病院、公園などの公共施設やエネルギー供給施設、通信施設などの生活・産業基盤のことを言います。



3 これからの『災害に強いまちづくり』についてそれぞれお聞かせください。

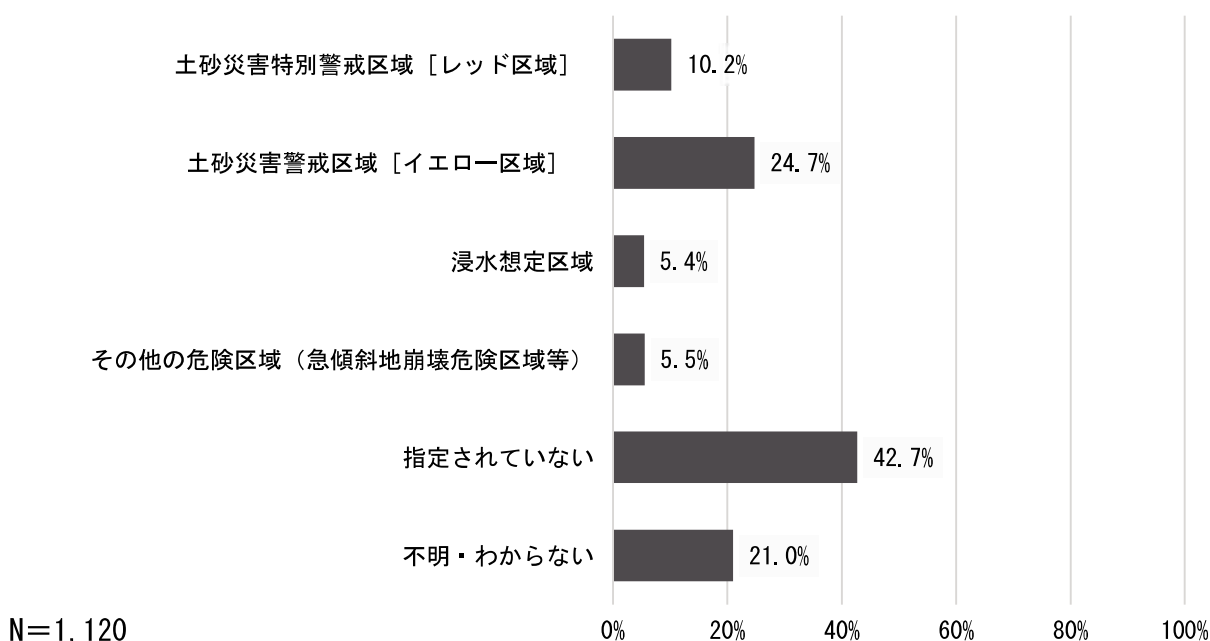
【問 22】 平成 30 年 7 月豪雨災害のとき、あなたは自宅以外の場所に避難をしましたか。（1 つに○）



N=1,108

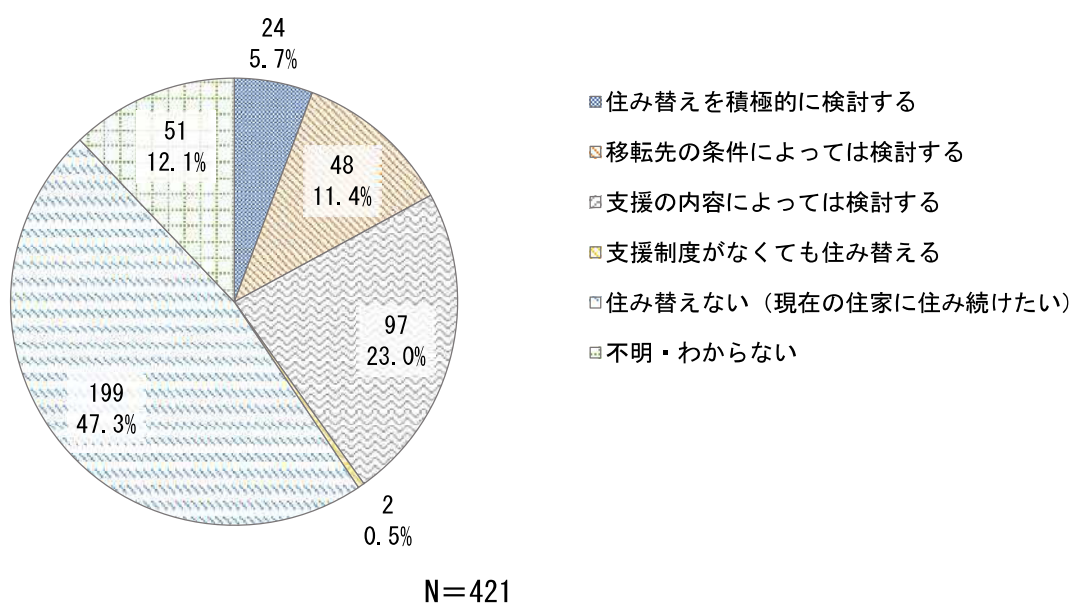
【問 23】 あなたがお住まいの地域における災害の危険性（ハザードリスクの有無）をお聞かせください。

（あてはまるものすべてに○、複数回答可）



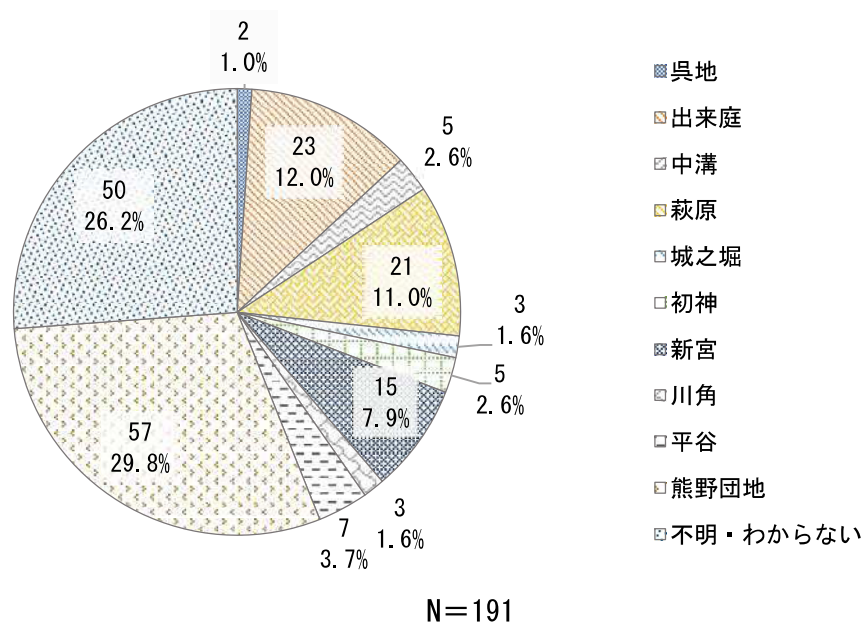
【問 24】 上記の問 23 で「1 から 4 を回答」された方にお伺いします。

災害リスクが高い場所から安全な場所（町内）への自主的な住み替えを促す支援制度（移転に係る費用の補助など）があった場合、住み替えを検討しますか。（1 つに○）

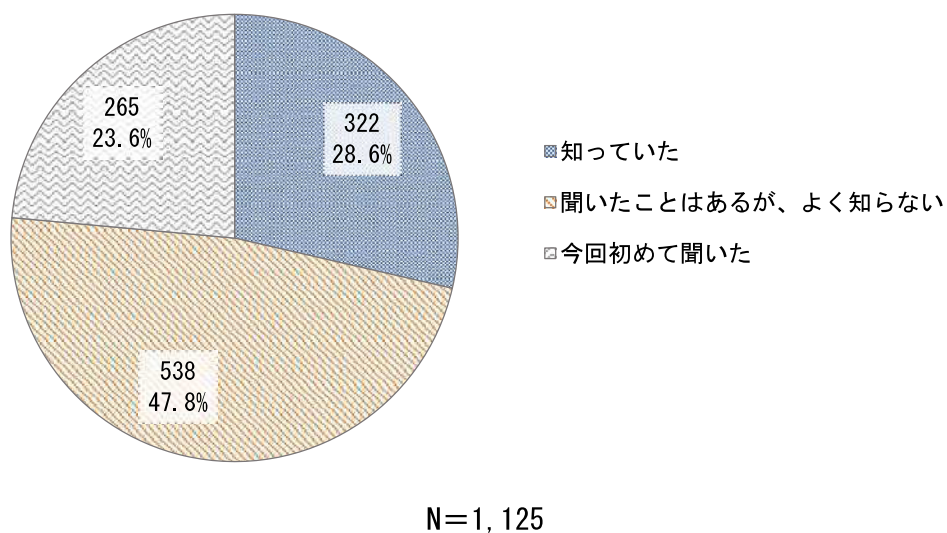


【問 25】 上記の問 24 で「1 から 4 を回答」された方にお伺いします。

あなたが町内で住み替える場合、住み替えたい地区はどこですか。（1 つに○）

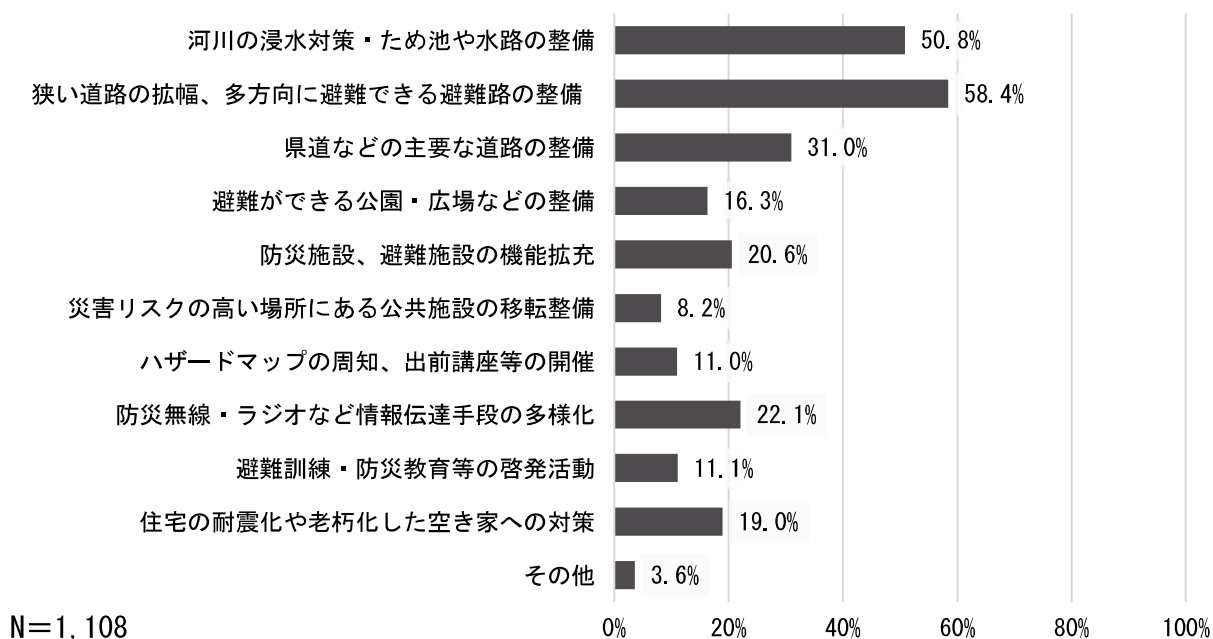


【問 26】 町では、平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓を基に「熊野町防災・減災まちづくり条例」を制定し、災害に強いまちづくりを進めています。こうした町のご存知でしたか。（1 つに○）

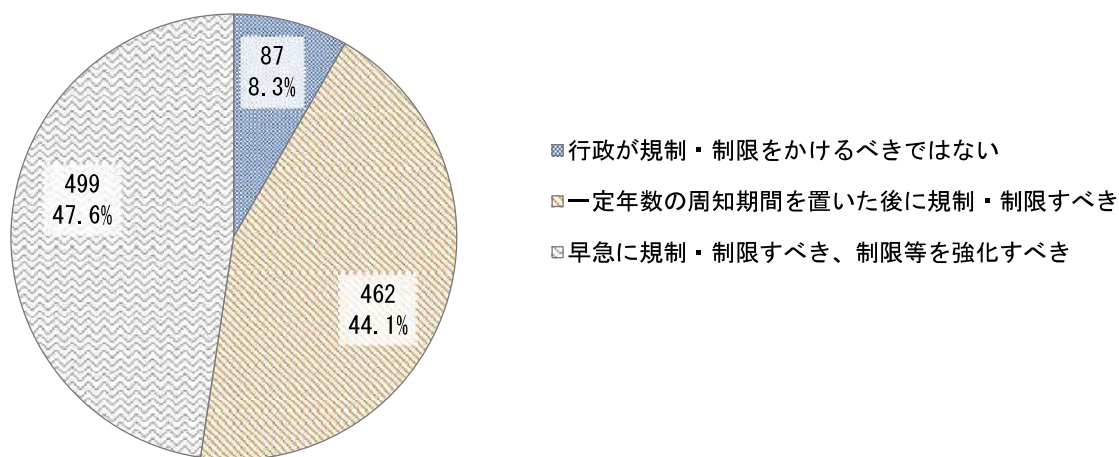


【問 27】災害に強いまちづくりを考えた場合、今後どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。

(○は3つまで)

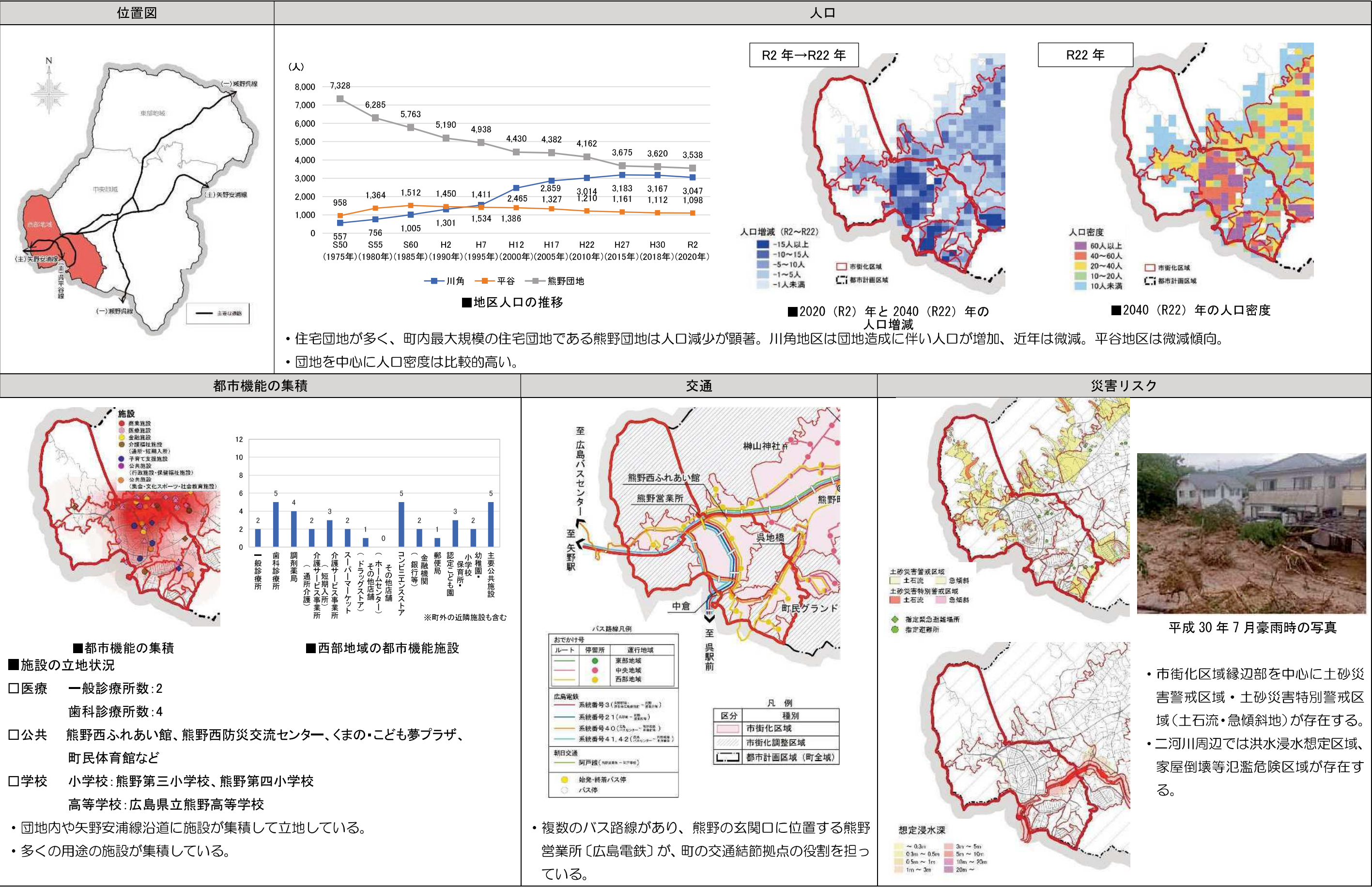


【問 28】気候変動に伴い、近年は豪雨災害などが増えていますが、土砂災害警戒区域や浸水想定区域など災害リスクがある場所で、新たな住宅の建設を規制・制限することについてどう思いますか。(1つに○)

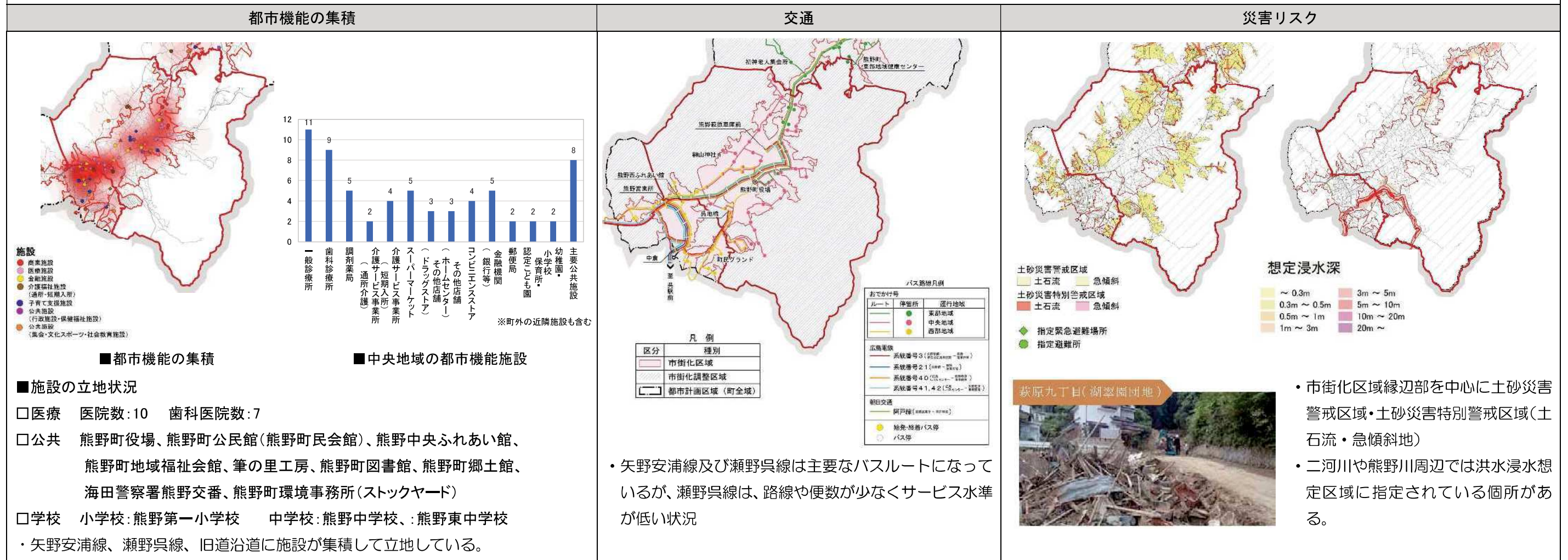
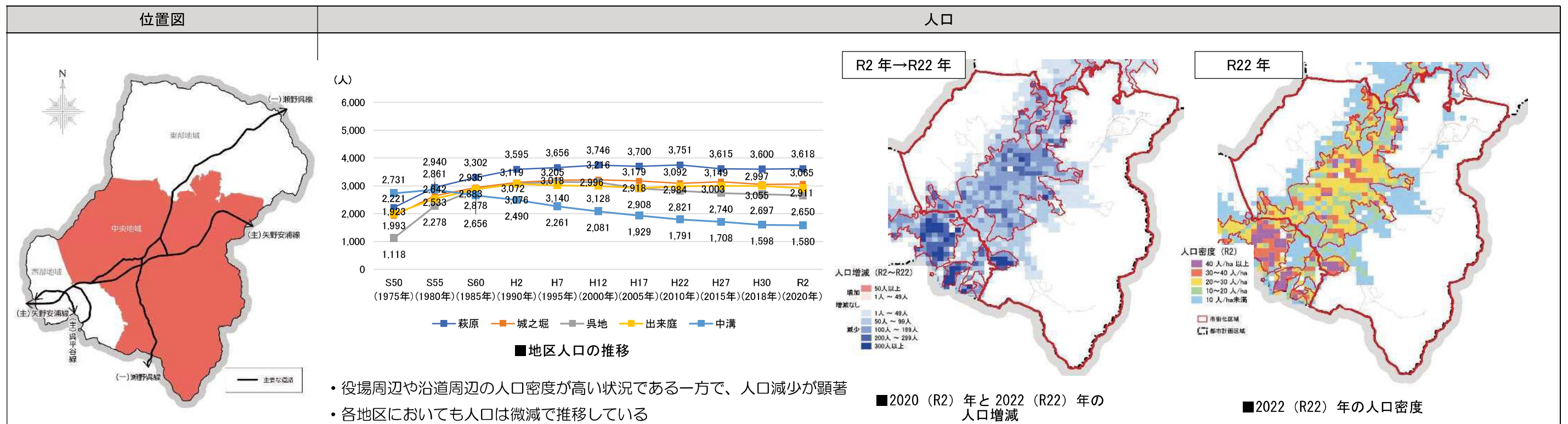


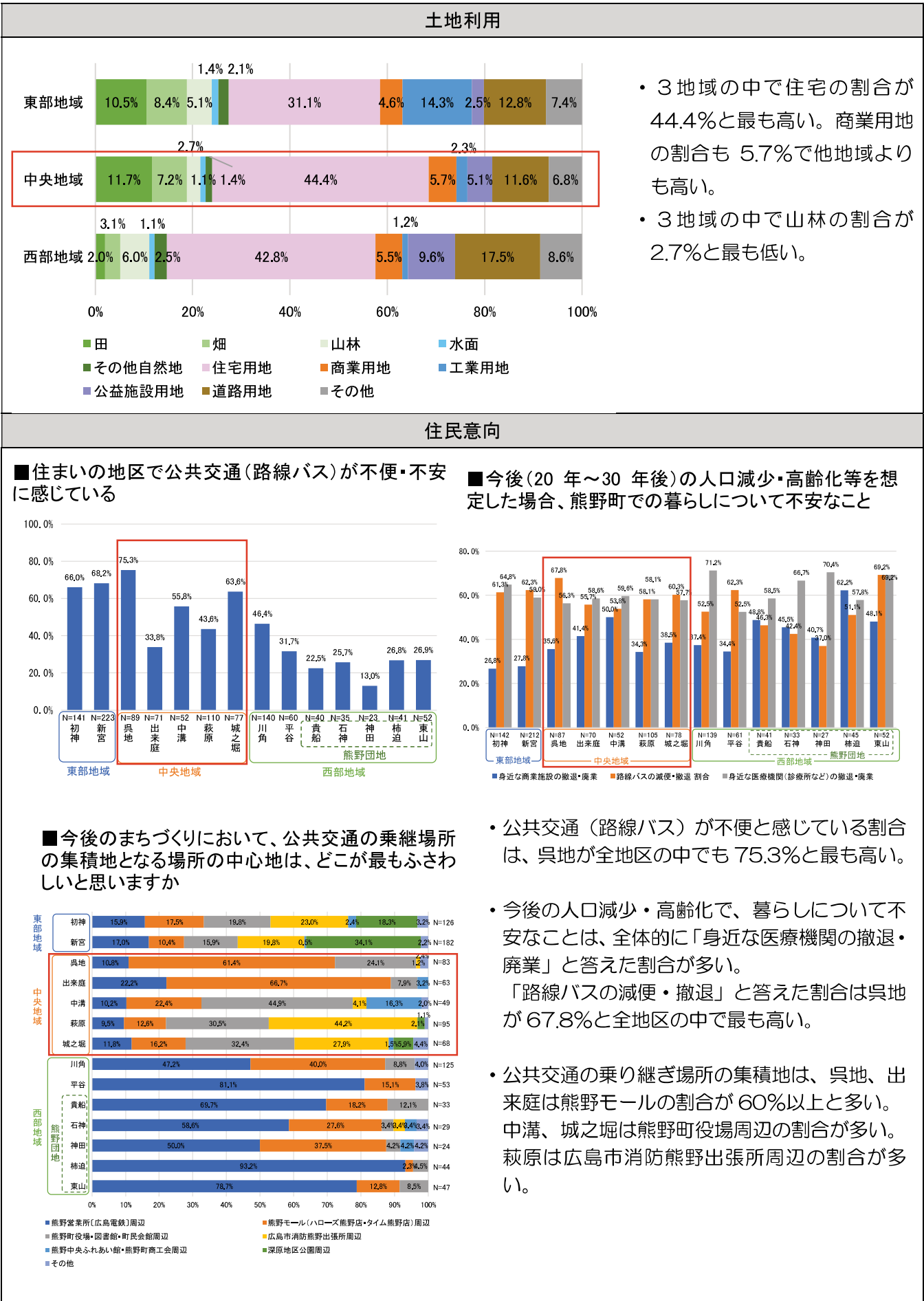
N=1,048

■地区別カルテ（西部地域）

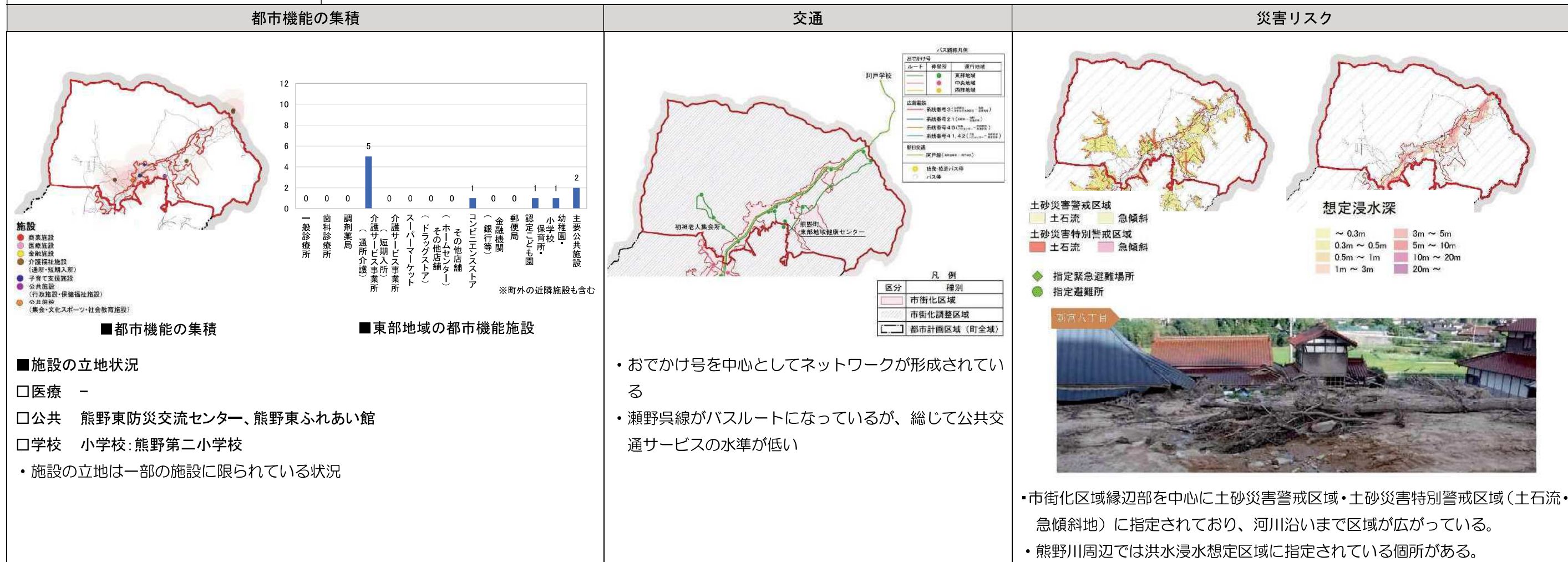
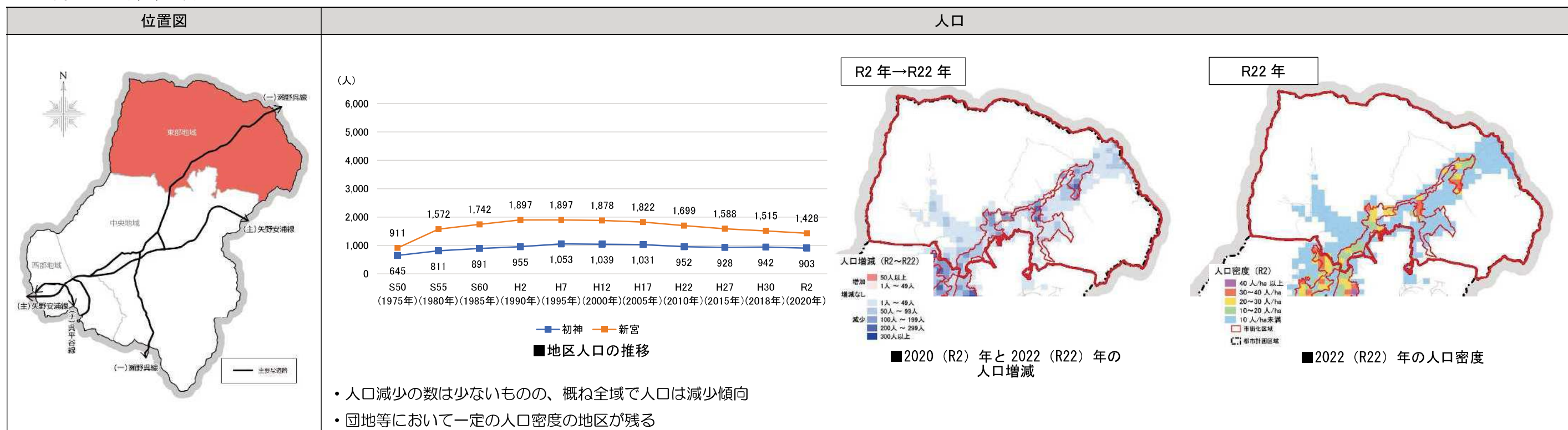


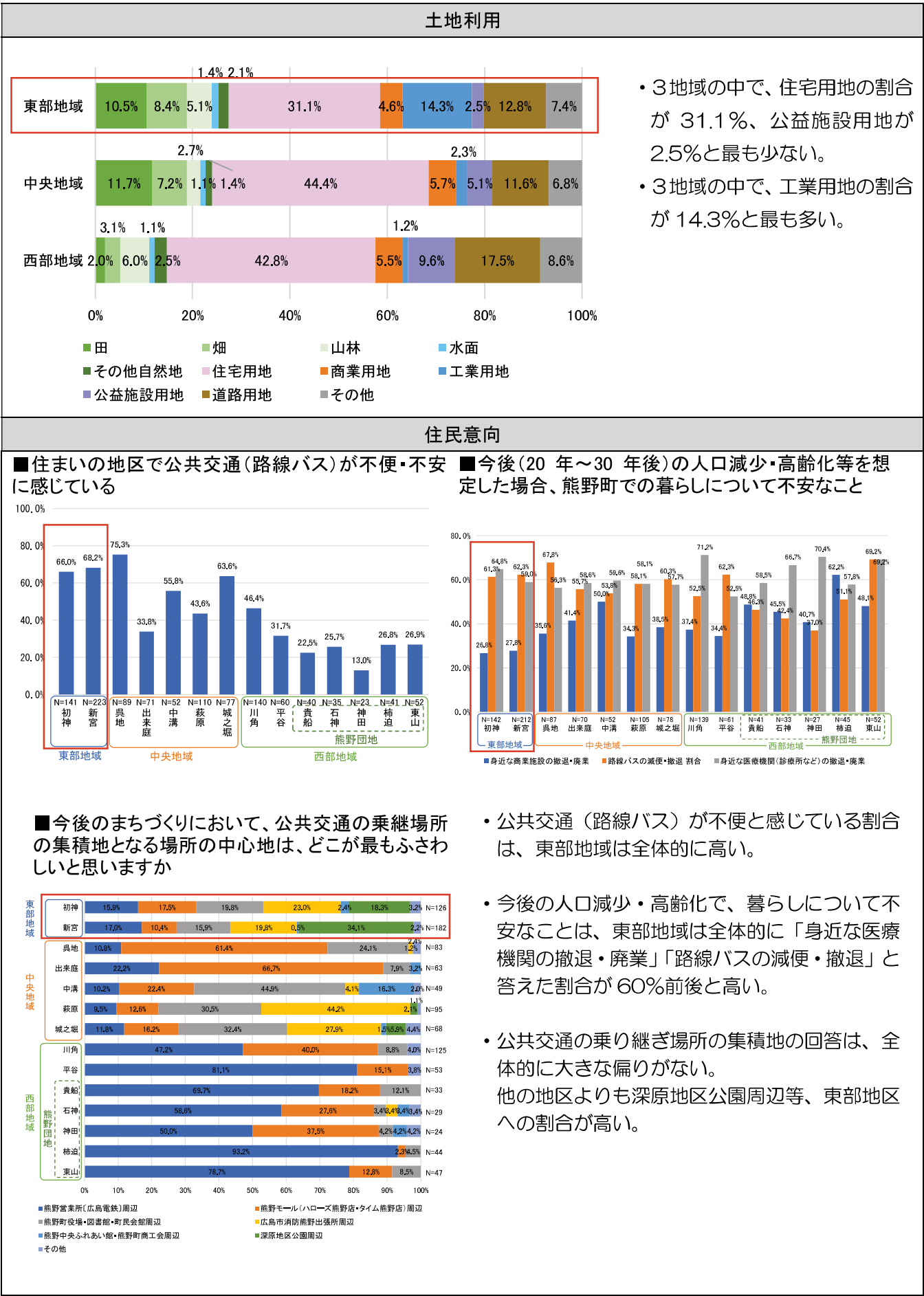
■地区別カルテ（中央地域）





■地区別カルテ（東部地域）





3地域の中で、住宅用地の割合が31.1%、公益施設用地が2.5%と最も少ない。

3地域の中で、工業用地の割合が14.3%と最も多い。

住民意向

■住まいの地区で公共交通(路線バス)が不便・不安に感じている

■今後(20年～30年後)の人口減少・高齢化等を想定した場合、熊野町での暮らしについて不安なこと

66.0%68.2%75.3%55.8%43.6%63.6%46.4%31.7%22.5%25.7%13.0%26.8%26.9%

N=141N=223N=89N=71N=52N=110N=77N=140N=60N=40N=35N=23N=41N=52

初神新宮奥地出来庭中溝萩原城之堀川角平谷貴船石神柿田東山

東部地域中央地域熊野団地

64.8%62.3%67.8%56.3%50.6%50.6%58.1%60.3%71.2%62.3%48.8%59.5%45.5%66.7%70.4%62.2%57.8%68.2%

N=142N=212N=87N=70N=52N=105N=78N=139N=61N=41N=33N=27N=45N=52

初神新宮奥地出来庭中溝萩原城之堀川角平谷貴船石神柿田東山

東部地域中央地域熊野団地

■身近な商業施設の撤退・廃業

■路線バスの減便・撤退割合

■身近な医療機関(診療所など)の撤退・廃業

■今後のまちづくりにおいて、公共交通の乗継場所の集積地となる場所の中心地は、どこが最もふさわしいと思いますか

15.9%17.5%19.8%23.0%2.4%18.3%3.2%

17.0%10.4%15.9%19.8%0.5%34.1%2.2%

10.8%61.4%24.1%1.2%

22.2%66.2%7.9%3.2%

10.2%22.4%44.5%4.1%16.3%2.0%

8.5%12.8%30.5%44.2%2.1%

11.8%18.2%32.4%27.8%1.5%5.9%4.4%

47.2%40.0%8.8%4.0%

81.1%15.1%3.8%

69.7%18.2%12.1%

58.8%27.6%3.4%4.4%3.4%

50.0%37.5%4.2%4.2%4.2%

93.2%2.3%4.5%

78.7%12.8%8.5%

0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%

熊野営業所(広島電鉄)周辺

熊野モータル(ハローズ熊野店・タイム熊野店)周辺

熊野町役場・図書館・町民会館周辺

広島市消防熊野出張所周辺

熊野中央ふれあい館・熊野町商工会周辺

深原地区公園周辺

その他

公共交通(路線バス)が不便と感じている割合は、東部地域は全体的に高い。

今後の人口減少・高齢化で、暮らしについて不安なことは、東部地域は全体的に「身近な医療機関の撤退・廃業」「路線バスの減便・撤退」と答えた割合が60%前後と高い。

公共交通の乗り継ぎ場所の集積地の回答は、全体的に大きな偏りがない。他の地区よりも深原地区公園周辺等、東部地区への割合が高い。

住民意見聴取会（ワークショップ）の実施		
目的	地域の方との対話を通じて、それぞれの地域の特性や詳細なまちづくりの課題を把握するとともに、住民の方が主体となって将来の方向性についての検討を行う。	
開催日時 場所	令和5年2月25日（土曜日） 13時00分～15時00分 （熊野東防災交流センター）	
参加者	（初神、新宮）：7名	
主な意見等		
地域特性	良い所	○きれいな水、おいしいお米、自然豊かで空気がきれい ○田園風景（田・畑）や第二小学校、榊森神社・城山など、自然環境、昔からあるものが多い ○農業が盛んで、地域資源となる農産物がある ○長年住んでいる方が多い（顔見知り） ○地域のコミュニティを支えるNPO法人がある（地域の宝） ○熊野東防災交流センター（料理教室等、色々なプログラムがある） ○おでかけ号（助かる）
		○高齢化による農業の継続困難、田んぼの担い手・後継者不足→荒廃地・太陽光発電の増加 ○町外の病院へのアクセス（広電熊野営業所までの交通手段が不便） ○おでかけ号は便利だが、乗る人が限定されているため改善が必要（満員で乗れない） ○バス停までの距離が遠い集落がある ○運転免許返納後の日常的な買い物（萩原地区までのアクセス手段） ○緊急車両が入れない4m未満の道路がある ○診療所等が身近な場所がない
	問題・課題	○若者の減少による地域の持続性の低下、働く場所がない ○新しいアパート等に住んでいる方々とのコミュニティの問題 ○新宮向田団地の高齢化（団塊の世代が多く、子どもが少ない） ○若者の減少による消防団員数の減少（30代～40代の人材の確保困難） ○借り手のない空き家の問題 ○土砂災害の危険性が高い場所が多い ○新宮は高低差があり、新たな開発が難しい ○災害により、三谷川がきれいな川でなくなった
		○今あるいいもの（地域の資源）を次の世代に伝えていきたい ○ふれあい館、地域のNPOとの連携強化（将来を見据えて、地域を盛り上げる） ○農業をしたい人を外から呼び込み地域を活性化→今の環境を守るために農地を活用。 ○東広島バイパス方面や海田町との繋がり強化（利便性の向上・災害時の安全安心） →10年・20年先を見据えた夢のある計画に ○地域を維持していくためにも、働く場所が必要 ○防災センターや深原地区公園を中心とした地域の拠点の整備（シルバー人材を活用）
		○（仮）新峠線の整備（海田町に抜ける道路） →地域のポテンシャルの向上、災害時のリダンダンシーの確保 ○緊急車両侵入困難箇所の解消
		○路線バスを廃止→おでかけ号のような乗りやすいコミュニティ交通の充実（増便） ○深原地区工業地への産業の呼び込み→地区外からの住民の呼び込み→活性化（東部地域に移住する若者への補助金等⇒安全な場所への新しい住宅の誘導） ○東部地域に1箇所は内科や歯科が必要 ○農業が好きな方に農地や農業機具を貸せる仕組み（あわせて農業も教えてあげる） ⇒地域資源を守る（ジビエ、いちご、ぶどう、長ネギ）、綺麗な三谷川の復活 ○健康ポイントの充実（高齢者が地域づくりに参画するためのメリット）
	方向性	
	提案・要望等	

■ワークショップの様子

158

熊野町立地適正化計画

発行日：令和6年3月
発行：熊野町
編集：熊野町 建設農林部 都市整備課
〒731-4292
広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号
TEL：(082)820-5608



